

小学生の体育学習への動機づけに関する研究

伊藤, 豊彦

<https://doi.org/10.15017/2348718>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (教育学), 論文博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	伊藤豊彦				
論文名	小学生の体育学習への動機づけに関する研究				
論文調査委員	主査	九州大学	教授	杉山	佳生
	副査	九州大学	教授	西村	秀樹
	副査	九州大学	講師	内田	若希
	副査	九州産業大学	教授	磯貝	浩久

論文審査の結果の要旨

本論文は、小学校体育における児童の学習動機を新たな枠組みで捉える方法を提示すること、および、学習環境要因が体育学習への動機づけに及ぼす影響を明らかにすることを目的とした研究である。研究1・2・3では、児童の体育学習への動機づけは多様な学習動機に支えられており、それらの組み合わせによって、児童の動機づけを解釈することができることを示し、それらを評価するための尺度を開発した。研究4・5・6では、体育授業場面における動機づけ構造、動機づけ雰囲気、教師の自律性支援行動に対する認知が、体育学習への動機づけにどのように影響しているのかを検討し、望ましい動機づけをもたらさうる授業環境要因を明らかにした。これらの実証的研究の結果は、より効果的な体育授業を実践するために教師が取るべき方策にかかる貴重な示唆を与えており、本論文は、学校教育の発展に資する新たな知見を提示したといえるものである。よって、本論文は博士（教育学）の学位に値するものと認める。